

(公社)地すべり学会 新潟支部  
平成 29 年度 第 3 回幹事会議事録

日 時：平成 29 年 10 月 13 日（金）18:30～20:30

場 所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部（直），稲葉，風間，佐藤（壽），山下，渡部（哲），金澤，須江，増田，辻川，  
柚木脇，五十嵐，藤ノ木，佐藤（博），古宇田（16 名）

記 録：須江

## 1. 事業計画部会報告

- ・10 月 2 日に開催の事業計画部会について、稲葉幹事長より報告があった。
- ・事業計画部会での意見及び対応について稲葉幹事長より説明。
- ・次回の事業計画部会（12 月 11 日、場所はおそらく新橋付近）開催前に実施の「申込システム」の説明へ参加可能な人（2 名要請）は、稲葉幹事長に報告する。旅費は支部で負担可能。

## 2. 各部会の進行状況

### ①総務

- ・会場配置案について稲葉幹事長から説明。協議の結果、プラン①をベースとして採用。その中で出た意見は以下のとおり。
  - i) ポスター展示の一部及びウォーターサーバーを機器展示と同じ部屋で行うことにより機器展示に人を呼び込むことができるのでは。
  - ii) ポスター展示は部屋の周辺だけではなく、パーティションを利用して中央も利用。
  - iii) 国際会議室については、意見交換会のみでの使用とする。1 日借りる必要は無い。  
⇒午前のみ、午後のみなど時間単位で借りられるか朱鷺メッセに確認する。
  - iv) プログラムが決定する 6 月末にはポスター展示数及び発表件数が確定する。本部を除いて予備の部屋を 4 部屋仮押さえしてあるが、大会の 1 ヶ月以上前であるため、キャンセルできるかを朱鷺メッセに確認する。可能であれば、直前に必要数に減らす。
- ・補助金申請については、新潟市の補助金申請が切が今月末であるため、会計メインで申請を進める。とりまとめについては、前回の資料等をお持ちの渡部先生にお願いします。
- ・新潟県の補助金は来年 5 月末が切であるため時間があるが、余裕をもって申請する。
- ・会場設営を全て本部で実施することは不可能であるため、イベント会社に一部委託する。

### ②県民講演会

- ・講師の選定にあたっては、有名な人だとかなり早め（年明け早々）の調整が必要。コンセプトを決めて早めに人選をする必要がある。
- ・前回は雪崩・地すべり研究センター所長の石井靖雄氏と花ヶ前盛明氏。
- ・有名な人だと予算がかかるが、大学規定+ $\alpha$ 程度で呼べる人。前回は 10 万円程度。
- ・県民講演会とはいえ、参加者の大部分は地すべり学会員であるため、話が面白く、学会員も新鮮に聞ける内容がよい。
- ・県民講演会担当で幹事からの意見を参考に、依頼者リストを作成して次回幹事会までに用意できると良い。リストは多くてよく、各テーマ毎に 2～3 人の候補者を挙げておき、優先順位の高い人からアポイントを取れば、確実に押さえられるのではないかな。
- ・幹事より提案のあった案（人物・テーマ）は以下のとおり。
  - i) 防災科学研究所 林 春男 氏
  - ii) 藤原 紀香 氏
  - iii) 酒（+水）

- iv) 錦鯉 (+山古志復興)
  - v) 健康関係
  - vi) 米
  - vii) 朱鷺+佐渡 ※内容が堅くないもの
  - viii) 糸魚川 (+翡翠)
  - ix) 新潟県の地質
  - x) 移住女子
- ※幹事の意見の中では「酒」「錦鯉」辺りが優勢か？

③受付、式典～⑦現地見学については、次回以降。

次回：11月17日（金）18:30～，災害復興科学研究所 プレゼンテーションルーム